

側溝全蓋化計画の 推進について

蜂須 直巳議員

・質問 平成八年度に側溝全蓋化計画を打ち出し、事業を推進しているが、現在の進捗状況はどのようなか。

また、未実施部分の今後の推進計画についての見解を伺いたい。

・答弁(都市整備部長) 側溝全蓋化計画は、市街化

区域内の市道の側溝すべてに側溝蓋を布設する目的で、平成八年度にスタートした事業であり、施工延長約四十三・

二キロメートル、総事業費三億六千万円、平成二十一年度に完了を予定している。

平成十五年度末までの施工状況は、約二十三・六キロ

メートルで進捗率五十四・五%となっている。

この側溝全蓋化の執行に当たっては、事業効果を高めるために、公共施設周辺の通学路、道路冠水など危険性のある箇所、住宅密集地の順に優先順位を付け、事業を執行してきたが、近年の厳しい財政事情により平成十四年度以降は、この事業の予算規模を縮小せざるを得ない状況になった。

平成十六年度以降の実施箇所は、事業費で約一億七千万



側溝蓋布設が完了した東9丁目地内の道路

とは難しい状況であるが、これまで進めてきたとおり、事業効果の高い箇所から事業実施に努めるとともに、上水道・下水道などの公共事業との整合を図り、効率的に整備することにより、可能な限り目標年次に近づこうとする事業の推進を図っていきたい。

その他の質問

・次世代育成支援推進法について

・羽生高等技術専門校跡地の有効活用について

ついて

・岩瀬土地区画整理事業の見直しについて

・災害に強い街づくりについて

・河川の再生について

事業者の暮らしを 守ることについて

落合 信夫議員

・質問 次の点について伺いたい。

大型商業施設の開発に対する規制を強化していくべきと考えるが、見解は。

TMOの運営について消費者の声が反映できるように住民参加型にすべきと考えるが、見解は。

空き店舗対策に対する支援策をどのように考えているか。

・答弁(市長、経済環境部長)

中心市街地の活性化を考え、場合、大型商業施設の開発規制という問題よりも、今は商店のあり方、構造改革を考えていかなければならない時

代ではないか。

地域の商業がそれぞれ生き残りをかけて頑張る。そしてそれを行政として支援していくことが大切であると考えている。

TMOについては、キンカ堂通り商店会が事業実施に向けて法人化をし、来年度から活性化事業を進めていくことになった。

県・市の補助金を活用して、空き店舗を改造し、高齢者を対象とした休憩所を兼ねた交流の場として整備していく予

その他の質問

・彩北広域清掃組合の動向に

*TMOとは

TMOは、「まちづくり機関」と訳され、商店街、行政、市民など地域を構成する人々が、まちの運営を総合的に調整・企画し、中心市街地の活性化に主体的に取り組み機関である。